



スナイブジュニアミックスの表彰式。
笑顔が素敵ですね。

全日本スナイブ級ジュニア ヨット選手権大会優勝@琵琶湖

お世話になっております。90代スナイブクルーの古閑麻央です。今回はこの場をお借りして11月11日から13日に琵琶湖で行われました全日本スナイブ級ミックスヨット選手権大会及び全日本スナイブ級ジュニアヨット選手権大会の報告をしたいと思います。

インカレ期間ほとんどヨットに乗ることはなく、ヨットに乗るのも久しぶり、しかもペアはインカレで素晴らしい成績を残して引退されたばかりの沼田来紀先輩ということで、楽しみな気持ちもありつつ、かなり緊張していたように思います。しかし、この三日間はほとんど風がなく、1レースでの大会成立となりました。

このレースでは、一上を左海面でブローに乗り、ランニングのレグから右に風が移っていったため、二上は右海面を進みました。全体で6位、ジュニアとしては1位という成績ももちろん嬉しかったのですが、自分でコースを引くということがとても面白く、心躍る経験でした。また、同じ風を受けているはずの社会人選手にすぐ横を抜かされたこと、これは初めて経験の長い選手の帆走力を体感する機会となりました。この経験は先輩のおかげで上位艇団にいたからこそできた貴重な経験であったと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

沼田先輩には“ヨットを楽しむことが大切”だと教えていただきました。これからつらいこともあると思いますが、その時はこの言葉を思い出したいと思います。また、先輩に見せてもらった景色を、もう一度自分の力で見たいという大きな目標もできました。レースの結果や技術的な学びももちろんありますが、この二つの、これからのヨット部で自分を支えてくれるものを得られたこと、それが一番大きな収穫であったと、時間が経つほど感じています。これを胸に、今年もヨットに邁進して生きたと思います。まだまだ未熟者ですが、よろしく願いいたします。



12月ポイントレース 470級

こんにちは。90代470スキッパーの矢田悠之助です。私からは、12月3日に行われた12月ポイントレースについて報告させていただきます。このレースはOFF期間前の最後のレースでした。午前中は風が非常に弱くレースは行われず、午後から2Rほどレースが行われました。

1R,2Rともにブローに入った瞬間だけ重く、その後すぐにパワーが抜けてしまう難しい風の中行われました。

私の船が難しい風に苦戦している中、先輩方やOBさんは難なく船を走らせておられ、尊敬すると共に来年のこの頃には私も先輩のようにかっこよく船を乗りこなしたいと思いました。今回のポイレは反省するべき点が多く、大変有意義だったと思います。この反省を活かし、少しずつでも速くなって行きたいです。



12月ポイントレース スナイブ級

お世話になっております。90代スナイブスキッパーの磯部新です。以下では12月3日に開催されたポイントレースについて報告いたします。

オフ前最後のレースということで、気合十分に臨んだレースです。開催されたレース中は風の振れが大きく、帆走自体は苦戦してしまいましたが、スタートについて大きな収穫を得ることが出来ました。また、他艇の状況から風の振れを見る意識が実践できたことや、クルーとのコミュニケーションを積極的に取ることなど、意識面でも進歩を感じました。その一方で、以前から苦手だったタックや、テルテルに意識を集中させ続けることといった課題を再認識し、これからの練習に一層励むモチベーションとなりました。

来年からは後輩が出来るということで、気持ちを新たに努力を重ねていきたいと思っております。お読みいただきありがとうございます。

近畿北陸学生ヨット選手権秋季大会 スナイブ級

90代スナイブスキッパーの桂田泰誠です。11月26-27日に開催されたプレプレについて書いていきたいと思っております。僕は網谷さんと出させてもらいました。1日目は無理矢理スタートはしたものの風がなくノーレースに。そのまま1日目は終了しました。2日目は午前中から4から5メートルほどの風が吹いていた記憶があります。途中吹き上がることもありましたが5レースを消化することができました。1日でそこまでレースをしたこともなく、ほとんどフルパワー以上の風域だったこともありとても疲れしました。そのためレース展開はほぼぼぼ覚えていないのですが、2レース目は印象に残っています。上ピン第二戦からという悪くないスタートでフレッシュを意識しながら走りました。ハイクアウトとメイントリムに集中し、いい意味でがむしゃらに走れたと思います。網谷さんのコース引きにも助けられ9位でフィニッシュすることができました。初めてのシングルを取れた嬉しさと少しの自信を得ることができ、とてもいい経験になりました。これからのレースも色々なことに挑戦して経験値を増やしていきたいです。



愛されキャラのスナイブスキッパーの桂田。キャラとともにこれからも邁進していきましょう。

近畿北陸学生ヨット選手権秋季大会 470級

お世話になっております。90代470スキッパーの溝脇大智です。11月26-27日に行われたプレプレについて報告します。1レース目は芳しくない順位からのスタートでしたが、上マーク回航直後にジャイブし先頭艇団とは逆の海面に進んだところ、風が大振れして7位で逆転フィニッシュすることができました。京大内で1位ということもあり、まぐれでも嬉しかったです。その後は、レース中に目の前の艇が沈んだり、波に押された勢いでハッチの蓋が飛び出てきたりと怖い思いをしつつなんとか走り切りました。また、一緒に出場した保家先輩による的確なフィードバックのおかげで、弱点を整理できました。今回の経験と分析を生かし、日々努力して参ります。



地面に垂直な姿勢のまま走る期待の新星ワッキー。これからの様子が楽しみです。

日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。



スナイプ クルー

金坂 知樹

2002年大阪生まれ。伝説の元男子校高槻高校の水泳部出身。工学部電気電子工学科。圧倒的なよく通る高い声、圧巻の動作、愛されるそのキャラ、どれをとっても、後輩からの憧れの的となっている。常に上達を志すその姿勢は、尊敬の一言に尽きる。

Q.これまでの部活を振り返って

A.少しでもうまくなるために練習を行ってきました。入部当初は尊敬している2個上の先輩に少しでも追いつこうと努力していました。その先輩が引退されてからは1つ上の先輩方よりも上手になろうと対抗心を燃やしながら過ごしていました。そんな中でも去年一年間のことは鮮明に覚えています。ありがたいことに去年は遠征や大会の出場機会をおおく与えてもらい、様々な海面でヨットに乗ることができ自身のスキルアップができました。

Q.思い出のレース

A.先日行われた琵琶湖インカレの第4レースです。このレースはオーバーパワーの風でした。9月ごろのコース練習では風が強くなるほど好成績が取れていましたし、その一つ前のレースやNになったレースでもシングル圏内だったので、少し余裕をもってレースに臨みました。そして1上をトップ回航し興奮しながら下マークを目指しましたが、ゲートマーク付近で風の振れを認識できずに数艇に抜かれ、二上で抜き返すなどを行っていました。2下で京大艇を確認すると、3艇ともシングル圏内であり、また自艇も順位を上げ3位フィニッシュしました。他の京大艇はトップフィニッシュと6位であり、今までで最も記憶に残るレースになりました。

Q.最近のペアについて

A.去年一年間ペアを組んでくださった87代主将の南野仁さんについて書きます。帆走技術やコースの引き方など、スナイプクルーとして大きく成長させてもらいました。インカレ前など僕が緊張しているときには励ましてくださいました。また普段の練習への集中力も高く、尊敬しています。去年一年学んだことを今年に還元して、また去年しても良かったように今度は自分がペアを励ますことができるようにしたいです。

Q.今年の目標

A.日々後悔しないように練習することです。去年一年間はインカレでこそ走れましたが、個人戦予選落ちや全日本スナイプではまったく走らなかつたりと、悔やまれることが多いです。今年はどういう結果で終わるかはわかりませんが、自分できったと思えるような日々を過ごしていきたいです。



470 スキッパー

中根 悠真

2002年大阪生まれ。大阪府立北野高等学校硬式野球部出身。農学部森林科学科。クールな顔の裏には、上達への並々ならない意欲があり、日々の反省記録の分厚さは、群を抜く。特技はどんなジブにもラフワイヤーを一瞬で通すことで、後輩からありがたがられている。

Q.これまでの部活を振り返って

A.コロナ禍の中、先輩方に憧れて入部してからもう2年が経ち、自分が最高学年になるということにまだ実感がありません。最高学年となった今、これまで多くの方々を支えてきたということを強く実感しています。一からたくさんの方々に教えていただいた先輩やOBの方々、切磋琢磨してきた同期、いつも刺激を与えてくれた後輩達。この一年間は自分がこれまでいっただいてきたものを部に還元できるよう活動していきたいと思っています。

Q.思い出のレース

A.2回生の時に出場したプレプレは特に思い出に残ってます。一個上の奈良氏と乗っていたということもありますが、人生で初めてシングルを取ったり、先輩ペアにレガッタを通して勝てたりとそれまで練習してきたことがしっかり身につけていることを実感できたレースでした。部活を続けていく上でうまくいかないことや辛いこともありますが、こういうレースが自分にとって日々の練習を頑張る原動力になってくれています。

Q.最近のペアについて

A.一番思い出に残ってるのは一個下の浅井くんです。ペアを組んだ当初は、自分自身のことさえ手一杯な状況で下級生も教育するというとても戸惑っていました。そんな中でも一緒にいろんな経験をする中でお互いに成長して、少しずつ前を走れるようになっていったことは自分のヨット部人生の中でも非常にかげがえのない思い出になってます。こういう経験ができるのもヨットというペア競技の面白いところだと思います。

Q.今年の目標

A.個人的には昨年の琵琶湖インカレの再現を自分達の代でしたいという思いが一番強いですが、レースメンバーとして結果を残したいという思いももちろんありますが、それもあくまでインカレで総合3位をとるという大きな目標の一部だと思っています。決して簡単な目標ではないですが、最後の小戸インカレでチーム全員で喜びを分かち合えるように、自分のできることを一杯頑張っていきたいと思っています。

スポンサー紹介

お世話になっております。88代広報部長の赤城昂輝でございます。この度株式会社リブレ様、株式会社フラット・エージェンシー様との新年度の契約を更新致しました。私はリブレ様を担当させて頂き、琵琶湖インカレの成績報告を行いました。その中で京大の成績を常に気にかけて下さったことや総合3位という結果を喜んで下さったことを知り、私自身非常に嬉しく思うと同時に、来年度もより一層努力しなければならないと強く感じました。またミストラル様にも物品提供を中心に日頃からご支援を頂いています。琵琶湖インカレでの出店を通じて部内のミストラルユーザーは着々と増加しています。打倒zhikを掲げ、今後も精進して参ります。スポンサーの皆様のお力があって京大ヨット部は日々の活動に励むことが出来ています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



いつも応援して下さるスポンサー様には感謝しかありません。結果で応えられるよう精進します。

船舶練習

90代スナイプクルーの岨伸明です。マネージャーだけでなくプレイヤーも船舶免許を取ろう！ということで大体のプレイヤーは12月から本格的に船舶練習を始めました。京大のレスキュー艇の中で一番大きい紫雲を操縦したのですが、操舵が難しく結構苦戦しました。実際に運転してみないと分からないマネさんの凄さが分かりました。先輩や同期に時間を割いてもらって練習指導をしていただいたので、なんとしても船舶試験に受かろうと思います！



新チームの方針で全員が船舶免許を取るようになりました。

レース前ルーティン

88代470スキッパーの十枝です。私のレース前ルーティンですが、ルーティンと言うほど特別なことではないですが、やはりレースの出艇前にはいつもより念入りに艀装チェックをさせていただきます。デッキ部分をさすさすしながら、『今日も頼むぞ』的なことを念じつつ、細かいところまで確認します。こうする事で、『あとは精一杯走るだけだ』とより集中できる&平静を保てる気分になるんですね。



じわじわ来る系の笑いをとる天才の十枝さん。

お世話になっております。88代スナイプスキッパーの山崎です。ルーティンと言えるほど大層なものではないですが、僕はレース前は朝早く起き、しっかりと朝ご飯を食べて元気満タンな状態でレースに臨むことを心がけています。今年は最高学年となり、より結果が求められるようになりますが、これからも元気に頑張っ参ります！



優しくムードメーカーの山崎さん。後輩とのワンショット。

レスキュー便り

プレイヤー以上に情熱あふれるマネージャーたちの活動や思いについて紹介します。

《マネージャー近況報告》

はじめまして！お世話になっております。90代マネージャーの吉塚千尋です。今回は軽い自己紹介をさせていただきます。京都女子大学の現代社会学部で、心理学や経営学など幅広い分野の勉強をしています。私はスポーツが大好きで、小学校では陸上、中学校と高校ではバドミントンをしていました。そこで培った体力を活かして、寒い春合宿も全力でプレイヤーの皆さんをサポートしたいと思います！そして、マネージャーとして成長し、チームに貢献できるように頑張ります。



新2回生マネージャー
吉塚 千尋

京都大学体育会ヨット部
滋賀県大津市鏡が浜番外地
京大ヨット部艇庫

[tel] 077-525-0312
[hp] <https://www.kuyc-home.com/>
[mail] kuyc.2013@gmail.com



<https://twitter.com/kuyc>



<https://www.facebook.com/kyotosailing/?fref=ts>



https://www.instagram.com/kuyc_food/?hl=ja